

日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社

施設の資産価値向上を支援するコンサルティング&マネジメント・ファーム
——高い信頼性を武器に多様化する建設プロジェクトをコーディネート

ここに注目!

建設プロジェクトのあらゆる問題解決が可能な総合力
中立性が高く、真にクライアント本位のサービスを提供

日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社は、建設プロジェクトに関するあらゆる悩みを解決してくれるプロフェッショナル集団だ。社名の通り、コンストラクション・マネジメント(CM)業務を主体として、既存施設の価値を高めるライフサイクル・マネジメント(LCM)業務を展開しているほか、不動産利活用コンサルティング業務や、グローバル事業支援など、建設に関するあらゆるクライアントのニーズに対応している。

企業のスタートは日建設計の事業部から。2005年に中立性を担保するために日建設計から独立した経緯もっている。

CMでは建設プロジェクトの事業構想段階から設計、施工、運営管理の各段階のマネジメントを担い、オフィス、商業施設の他、研究、教育、医療、放送、エネルギーなどほぼ全領域の施設にわたってサービスを提供できるのが

強みだ。クライアントは民間企業のほか、寺院、庁舎や病院、スポーツ施設などの公共施設まで幅広い。建物のコスト管理、品質管理やスケジュール管理などプロジェクト全般にわたりきめ細やかなマネジメントサービスを行っている。

LCMでは単なる施設の劣化対応、バリューアップだけにとどまらない。改修投資に関わる調査、戦略策定や遵法性、耐震性の確保、エネルギーマネジメント、BCP対応など、施設所有者が期待する、あらゆるニーズに対応できる。

透明性の高い建設マネジメントサービスが武器に

もともと、設計者とコンストラクション・マネジャーの立場を明確にし、公正で透明性の高いマネジメントサービスの提供を目指して、日建設計から分離・独立した経緯をもつ。水野和則社長も「不

動産会社でもゼネコンでもない私どもが、透明かつ中立な立場でサービスを提供できることに、大きな意味がある」と言う通り、偏りのない、真にクライアントの立場に立った提案が可能である点が、同社の最大の強みである。

その結果、近年発足した事業性検討グループでは、広大な敷地を持つ企業の事業改革に伴う敷地の有効活用や、新聞社の不動産利活用等のプロジェクトで大きな成果をあげつつある。

事業環境の変化により不動産の再編を必要とする企業も多い。そうしたクライアントに対し、不動産の取得・売却を含めた支援を戦略検討とシームレスに行うよう、求められることも増えてきた。そのため、2019年には不動産取引に関する免許も取得した。

ユーザーからはこうした中立性・透明性が高く評価され、サービスは多岐にわたっている。最近ではコロナ禍でオフィスの在り方



マネジメント・コンサルティング実績「真宗大谷派難波別院」



CSRの取り組み「木を伐る活動」



CSR活動を発信する媒体「新林」表紙

をワークスタイルに立ち戻って検討支援する「ワークスタイル・ソリューション検討業務」に注目が集まっている。

国内外のクライアントのあらゆる建設プロジェクトに対応

その他、多くのメガソーラープロジェクトや、太陽光から水素を製造する政府の実験プラントプロジェクトなど、再生可能エネルギープロジェクトのCM、環境・スマートテクノロジーに関連するコンサルティング事業、BIM(ビルディング・インフォメーション・モデル)を活用した施設マネ

ジメントなど、業務領域は多様化している。

これらの事業は国内だけでなく、グローバルに展開しており、日本を代表する企業の海外展開を支援し、手掛けるプロジェクトは世界30か国以上にも及ぶ。

一方で、外資系企業による日本国内の不動産投資プロジェクトも増加している。世界的な化粧品メーカーのアジアにおける生産拠点構築プロジェクトや、北海道の大型リゾート投資や関西の大型複合施設なども、進行中だ。

こうした拡大かつ多様化する業務に対応できる理由として、水野

社長は優秀な人材の存在をあげている。「社員一人一人のスキルの高さがなければ、時代とともに移り変わるクライアントの難しい要求に対応できません。コンサルティング&マネジメント・ファームにふさわしく、一人一人がプロフェッショナルとして自立を促進するため、個人により大きな権限を与えるように人事制度も見直しています。また、数年前に定年を65才に延長して、年齢にかかわらず、質の高い業務の提供が可能になりました」と語ってくれた。成長を支える人の力を存分に発揮できる、東京のカイシャがここにある。

わが社を語る

代表取締役社長
水野 和則氏



サステナブルな社会環境の構築を目指す

私たちは透明性が高く、かつ豊富な実績を持つマネジメント会社で、プロフェッショナルが集まった専門家集団です。創業時、12名の社員は現在、300名を超えました。世の中の施設関連のマネジメントに対するニーズの急激な高まりによるものです。成長・拡大路線の一方で、サステナビリティの推進も重要な経営課題の一つと考えています。「サステナビリティ推進チー

ム」を発足し、森林関連の社会課題解決への取り組みとして、媒体「新林」を発行したほか、京都大学ESG研究会に参画しています。コロナ禍の不透明な今こそ、あらゆるプロジェクトをクリエイティブにマネジメントすることで、皆様と共に「まだない明日へ」歩んでいきたい、という思いを抱いております。

会社 DATA

所在地：東京都文京区後楽1-4-27
創業・設立：2005年1月設立
代表者：水野 和則
資本金：8,000万円
従業員数：316名(2021年1月現在)
事業内容：公共・民間施設などのコンストラクション・マネジメント業務など
U R L: <https://www.nikken-cm.com/>



マネジメント・コンサルティング実績「東京會館本館」



マネジメント・コンサルティング実績「武田グローバル本社」